

2018年2月5日

阪神電気鉄道株式会社

尼崎駅において列車の一部扉がホームから外れた状態で開いた事象について（ご報告）

2月4日（日）、阪神なんば線尼崎駅3番線において、ホームから一部の車両が外れた状態で停止していた際、車掌が誤って扉を開けるという事象が発生しました。

この事象によるお客さまの転落は発生しておりません。

ご利用のお客さまには、大変ご心配とご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

1 発生日時

2018年2月4日（日） 午後4時19分

2 発生場所

阪神なんば線 尼崎駅3番線

3 発生列車

上り快速急行列車 神戸三宮駅（午後3時52分）発 近鉄奈良駅行き 6両編成

4 概況

当該列車は、近鉄線内乗入れに伴い尼崎駅で車両2両を増結するため、信号機の手前で一旦停止していたところ、担当車掌が誤って扉のスイッチを操作したため6両編成全ての扉が開きました。その際、6両編成の車両の一部がホームに掛かっておらず、最後部車両の扉4ヶ所と後ろから2両目の車両の扉1ヶ所がホームに掛かっていない状態で扉が開きました。

その後、ご乗車のお客さまの転落等がないことを確認し、扉を閉めて増結後に運転再開しました。

なお、最後部の車両には約30名（座席定員40名）のお客さまが乗車されていました（当該編成車両全体では約200名乗車）。

5 影響

阪神なんば線1本 当該列車が約2分の遅れ

6 原因

列車が一旦停止していた際に、車掌が無造作に扉のスイッチを操作したためです。

今後、このようなことが起こらないよう、乗務員への指導を徹底してまいります。

以上